

高齢者事故多発警報

自分で守ろう 尊い命

高齢者関連事故発生件数(概数)H23.9.8現在 ※65歳以上の方を高齢者とします。

	全 体			高 齢 者		
	発生件数	死者数	傷者数	発生件数	死者数	傷者数
平成 23 年度	6, 8 3 4	4 8	8, 3 3 7	2, 1 6 8	2 2	2, 7 2 8
平成 22 年度	7, 1 1 2	5 4	8, 6 7 2	2, 3 3 0	3 8	2, 9 2 7
対前年対比	- 2 7 8	- 6	- 3 3 5	- 1 6 2	- 1 6	- 1 9 9

県内交通死亡事故、高齢者関連事故、いずれも右記のとおり多発していた22年度からすると減少傾向を示して



高齢者交通安全教室の様子

いきました。しかし、9月以降高齢者関連事故が多発し、10月に入り、**交通事故多発全県警報**が発令されました。

高齢者関連の交通事故で特に多いのが、横断中の事故です。道路を渡りきる前に、はねられてしまうケースが多発しています。高齢になると身体能力だけでなく判断能力も低下し歩く速度も遅くなります。

だからこそ、道路横断前と横断中の右左の確認や、**反対側車**



年末年始交通安全キャンペーンの様子

線に入る前に再確認をすることが重要です。県や市をはじめ、各種団体では、交通事故への認識を高めるため安全教室を開催しています。

高齢者を対象とした「高齢者交通安全教室」や「高齢者ふれあい交通安全教室（トラック協会主催）」なども開催されています。幼児や小中学生を対象とした交通安全教室も各学校等で行われています。



高齢者ふれあいトラック交通安全教室

また、各主要道路では、交通安全期間に「交通安全キャンペーン」も行われています。皆さんも、自分の身体能力や判断力を過信せず、安全教室等に積極的に参加し、交通事故への認識を常に高めましょう。被害者にも加害者にもならないように安全運転・安全歩行を心がけてください。